

第 94 回 スマイルグループホーム運営推進会議 議事録

日 時	2023 年 7 月 25 日 (火) 14 時 00 分より
場 所	スマイルデイサービスセンター内会議室
出席者数	総数 10 名中 7 名
出席者 (敬称略)	
ご利用者	
欠席者(敬称略)	
書 記	

1.開会宣言(司会・グループホーム管理者)

2.施設長より

(冒頭、グループホーム運営推進会議の意義、目的について、改めて推進会議メンバーの皆様に、資料をご用意してご説明させていただきました。)

法人、事業所の決算および運営状況の説明を実施。

グループホームでは、2年に1回の外部評価の受審が求められていますが、介護の質の向上を目指すということから、今年度も8月に外部評価を受審します。また、一般的にご家庭での入浴は夕方から実施されますので、一旦休止していた夕方からの入浴支援を再開しています。

【協議事項】

2.スマイル GH でのご利用者の方の生活状況と運営についての現状報告

稼働実績 2023 年 5 月 95.0% 6 月 100%

ご利用者介護度 要介護 1…2 名 要介護 2…5 名 要介護 3…1 名 要介護 4…1 名

3.事業の概要について

・ グラウンドゴルフ

5 月末に、中庭にてグラウンドゴルフを行いました。実際のグラウンドゴルフで使用するクラブとボール、ゴールポストを使用し、中庭の芝生に出て、お一人ずつ挑戦していただきました。

「こういうのはやったことないわ、どうやってするの?」という方には、握り方からお伝えし、職員と一緒に行いました。中には、以前よくゲームを楽しんでおられた方もおられ、きれいなフォームで見事にボールをポストに入れて、「久しぶりやわ。」と喜んで下さっていました。

・ 手作りバラ園作成

6 月 3 日は、彦根の庄堺公園のバラ園へお出掛けする予定でしたが、台風の接近と重なってしまい、やむなく中止としました。その後代替えの日を検討しましたが、調整が難しく、今回は皆さんで手作りのバラ園を作ることとしました。折り紙を使って、様々な色のバラを沢山折っていただき、花壇に見立てた模造紙に貼り付けていただきました。天気の良い日に、中庭にて出来上がった手作りバラ園をバックに記念撮影を行い、「これはこれでいいね。」と、皆さん笑顔で写真に収まっておられました。

・ 梅干し作り

6 月中旬より、梅干し作りに取り組んでいただいています。寺倉の方からいただいた梅を洗って塩漬けにし、しばらく置いた後、赤しそを加えて天日干しをしています。もうすぐ出来上がりというところですが、いずれの作業も、ご自宅で毎年梅を漬けておられた方々の知識と経験に助けられています。

・ 消防訓練

6月21日には、避難訓練を行わせて頂きました。グループホームより火災が発生したとの想定で、隣接の特養まで避難していただき、皆さん慌てられる事なく、落ち着いて訓練にご参加下さいました。職員2名にての誘導でしたが、各自の役割分担と他部署との連携をはかることができ、スムーズに避難いただくことができました。

・ 創作物作り

最近、スクラッチアートという創作物に3名の方が取り組んでおられます。黒い台紙に印刷された線をペンで削ると、下からカラフルな色や光るホログラムの線が出てくる「削る塗り絵」で、自分で絵を描いたり、色を塗ったりする必要がなく、手軽に楽しめるものです(100円ショップや本屋で購入可能)。新しくご入居された方がお持ちになり当初実施されていたのですが、両隣の方が興味を持ってこられ、ご自身で購入され同様に取組まれるようになられています。細かい作業ですが、時間を忘れてしまう程の楽しさがあるようで、集中して取り組まれています。

・ 中学生職場体験

コロナ禍も現在は一定の落ちつきをみせている状況で、双葉中学校よりご依頼があり、3年振りに中学生の職場体験の受け入れを行いました。3日間を隣接のデイサービスでの研修、残り2日をグループホームでの研修とし、グループホームでは、主にご入居の皆さんと過ごす時間を持っていただきました。研修中、ある中学生より「ここの人達から色々と話し掛けてもらって、デイサービスの時より会話が出来たのが良かった。」との感想がありました。認知症があっても、普通の方々と同じだということを実験してもらえたことが、何より良かったと思います。

・ 七夕祭

7月7日には、七夕祭を行わせて頂きました。お一人ずつ短冊に願い事を書いて頂き、笹に飾って頂きました。また、この日は職場体験学習の日でもあり、中学生と一緒に、折り紙で作った天の川などの飾りも飾って下さり、賑やかで綺麗な七夕飾りが出来上がりました。

・ ジャガイモ掘り

7月の初めには、畑で出来た玉ねぎ、ジャガイモ、きゅうりを順次収穫していただきました。暑さに気を付けながら、軍手をはめ、沢山の玉ねぎやジャガイモをおこして下さいました。グループホームで食べきれないものは、毎日の施設全体の食事を作っている厨房にも一部提供し、活用致しました。玉ねぎなどは、「沢山あるので、吊るして保存しないと。」と、自ら申し出て、紐で手早く吊るして下さい方もおられました。

・ 流しそうめん

7月22日には、流しそうめんのイベントを行いました。施設内にセットを作って涼しい環境で実施し、次々と流れてくるそうめんを、皆さん楽しそうに召し上がって下さいました。連日の猛暑が続くなか、涼を感じて楽しんでいただけたように思います。

4.その他・協議事項等

- ・5、6月のグループホームでの事故、ヒヤリハット事例についてのご報告
今回より、以下の通り表にまとめる形とさせていただきます。

事例	内容	対応	再発防止策
(事故報告) 転倒	畑でエンドウ豆の収穫作業中、バランスを崩され横向きに倒れられた。	園芸用の棒に右肩が当たり痛み、内出血見受けられた。往診医師に確認し、治られるまで痛み止めを服用、継続して湿布を貼る対応を行った。	職員1名で、2名の方に畑に来ていただき、別の方に付いた間に転倒された。職員1人の時は、一度に複数呼び出すのではなく、お一人ずつ対応する。
(事故報告) 誤食	座椅子の脚に付けていた布製のカバーが外れて床に落ちており、それを口に入れようとされた。	ご説明し、職員にお渡しいただく。	口に入れてしまわれそうなものは、なるべくご本人に気にならない所に置く。脚カバーは、取れないように固定する。
(事故報告) 転倒	トイレに行こうと立ち上がった際、バランスを崩され床にしりもちをつかれた。「足が滑った。」とのこと。	痛みや皮膚状態を確認、問題なし。時間をおいて再確認するも、異常は見受けられなかった。	立ち上がりの際、職員が傍に付く。
(事故報告) 転倒	起床され、着替後にトイレに行こうと押し車で歩かれた際、廊下でふらつかれ倒れられた。	かなりの痛みの申し出があり、近江診療所から長浜赤十字病院にて検査を受ける。骨にヒビが入っているも、認知症の悪化が懸念され入院、手術は難しく、痛み止めを服用し安静にすることとなった。	普段はご自身で押し車歩行が可能な方で、常時付き添い、見守りはしていなかった。今後は、毎回付き添い介助とする。
(ヒヤリハット) 備品破損	ご利用者の居室の掛布団カバーの紐が破損しかけていた。 (掛布団カバーはリース用品)	ご家族に依頼し、ご本人用の掛布団カバーを持参いただいた。	不安定になると、周囲のものに触れたり破損に至るまで強い力を加えてしまわれることがある。そうしたものをなるべく置かない。ご家族にご説明の上、共用でなくご自身のものを使用していただく。

5. 質疑応答、ご提案等

(委員の方より)

- ・8/13(日)に寺倉地区で納涼祭を行います。グループホームの皆様にも、参加いただければと思います。
- ・高齢化の中、地元にごこういった施設があるのは心強い。現在、待機待ちの方はどのくらいおられますか。

(職員)グループホームでは、3~4名の方にお待ちいただいている状況です。隣の特養でも同様に、お待ちしております方が複数おられます。

(施設長)特養も待機数は多いですが、サービス付き高齢者向け住宅など色々な施設があり、希望される方も、5か所位を並行して申し込みされます。ですので、実際の待機人数としては少なくなります。

(委員の方より)

- ・週休3日制を採用されていると聞いており、とても良い方法だと思います。

(施設長)職員が働くことが楽しいと思えるように、「畑に行ける。」とか、「家族の病院の付き添いに行ける。」ということが大事です。幸い、施設のホームページに沢山アクセスいただれたり、求人にも沢山応募をいただいています。

(委員の方より)

- ・限られた職員さんの人数の中で、9名の皆さんを介護するのは大変だと思います。いざという時に、応援の職員が来られるような仕組みはあるのでしょうか？夜の記録を見せてもらおうと、2時間ごとに母の対応をされていたりと、大変なのではと思いますが。
- ・部屋にいて、もしもの時に本人が職員さんを呼べるようになっているのでしょうか？

(施設長)グループホームは、通常は2名体制で行っております。特養では、基準より多い人数で余裕をもってカバー出来るようにしています。また、シルバー人材センターの方には、救急搬送などの際に、ご協力いただける体制となっています。また、例えば万が一の外部からの侵入などの際は、警備会社アルソックのサポートを受けられます。

(職員)緊急時にサポートする体制(管理者の出勤等)はありますし、通常の夜間業務で、皆さん基本的に眠っておられるので、休む暇もないほど職員が動いているということはないです。また、万が一の際、ボタンを押してフロアの職員に伝える機器も設置されています。

(委員の方より)

- ・骨折などで入院される場合、入居料はどうなるのでしょうか？

(職員)入院中も、お部屋を占有いただいているということで、費用は入院中もいただくというご説明を、入居前に行っております。

- ・事故報告について、誤食で異物を「入れようとされた。」という文面がありましたが、実際に入れられたことで事故としての報告になっているので「入れられた。」という方が正しいと思います。
- ・転倒された方の件について、急に立ち上がってしまわれる方は何名ぐらいおられますか。

(職員)3名の方は、職員の見守りを行う方となっています。

本来に、これは全員の見守りが可能なのでしょうか。実際は難しいと思います。事故報告後の対応として、「常に見守りする。」という目標を立てるのは現実的ではないので、もっと有効な対策をとる方が良く考えます。それぞれの方に合わせた対応策を、職員が情報を共有して行っていくことが大事だと思います。

- ・ヒヤリハットで、掛け布団カバーの件は「ヒヤリハット」の分類には入らないのでは。ご利用者に何か影響があることについてあげるべきだと思います。また、ご本人用のカバーを別に購入いただいたとありますが、寝具はご利用料として別に頂いているものではないようですので、適切なかどうかは検討していただきたい。

(施設長)事故を防ぐということを考える中で、一度に複数の状況が起きる可能性があります。

(精神)薬を使っているわけでもない中では、そういう方は(突き詰めれば)入ってもらわないほうがいい、ということになってしまいませんか。

(委員の方より) その方が、どういうときにそうした行動をとられるのか、その方の個別的な情報を把握した上で、個別に対応する方法は出てくると思います。それが無い中で、ただ「対応します。」としてしまうことが、良くないです。どうしても、やむを得ない状況というのは出てきますが、その時対応として書いた以上、「なぜそれをしなかった。」ということになりかねません。
ご家族としては、施設に入ると「ちゃんとみてもらって当然。」と思っておられる方もおられますし、入居の際に、そうしたことが可能性としてある、ということは初めにご説明しておく方が良いと思います。

(委員の方より)

- ・本年より会議に参加することになりました。施設での収益の状況について、落ち込みの要因を改めてお聞きしたい。また、冒頭に説明がありました入居率の考え方について、お聞きしたい。

(施設長) デイサービスのご利用数の落ち込みが主な原因です。ケアプランセンターを8月より再開させて頂くのですが、残念ながら、他施設による「ご利用者の囲い込み」があるのが現状ですので、それを解消することも目的となっております。また、選んでいただける施設としての質の向上を図る目的で、「ユニットケア」の研修対象施設を目指しております。

(→入居率について、改めて上原よりご説明させていただいた。)